

# 八中2年人権だより

徳島市 八万中学校  
2年生 第17号  
2023年11月15日  
編集・発行 吉成正士

(第16号からのつづき)

## 発表した人にしか見えない景色

■私は今回、人権学習が初めて楽しいと思いました。自分の思いをみんなに伝えることができたからです。初めての発表はすごい不安で、発表の前後、ずっと足や手が震えて泣きそうでした。でも、発表中みんなの方を見ると、私を見て、真剣に聞いてくれていて、これが発表した人にしか見えない景色なんだと思って、うれしくなったし、自信がもてました。発表したあと、さっきはじめて話したばかりの同じ班の子が、「ナイス」「よかったよ」と笑顔で言ってくれたり、同じクラスの子が褒めてくれて、発表してよかったと思えました。私が印象に残っているのは、「互いを知り合い、分かりあい、認め合う」という言葉です。考えてみれば、私は自分の大切な友達の悩みやつらかったこと、うれしかったこと、何も知らないなと感じました。お互いを知ることが本当の仲間につながることを知って、自分のことも友達のことも知っていききたいと思います。

2組MH

「発表した人にしか見えない景色」、どんな景色でしたか？今回、発表したかどうかは別にして、みんなが全体の景色を見たはずですよ。皆さんにはどんな景色が見えたのでしょうか。大きな舞台に立ち慣れている人もいれば、そんな経験がほとんどない人もいます。でも、できるだけ多くの人に、そんな舞台を経験してほしい。そんな経験が度胸をつけてくれるし、人を大きく成長させてくれるからです。経験は積み重ねただけ人を成長させてくれます。是非そんな機会を大切にしてください。

初めて会ったのに、互いをちゃんとリスペクトできる。こんな感覚は、私にも何度も経験があります。それはまるで、ずっと知り合いだったような感覚でした。特に人権の世界ではよくあるように思います。

「本当の仲間」、今いなくても、今すぐでなくても構いません。けどいつか、互いの思いを伝え合える、「本当の友達」を見つけてください。そしてあなた自身が、誰かにとっての「本当の友達」になってください。それは互いにとってかけがえのない、一生の宝物になるはずですよ。

## 「成長できていない」わけではない

■私は今回の人権・平和学習を受けて、今日の学習の雰囲気は今までと比べてとても良かったと思う。今までの雰囲気はというと、吉成先生がおっしゃっていたように、私たちが言えない雰囲気をつくってしまっていた。しかし、今日の学習の雰囲気は、今までのとは逆でとても良かったと思う。前からずっと発表していた人だけでなく、今まで発表してこなかった人たちが多く意見を発しているのを聞

いて、この人はこういう考え方を持っていたんだな、などと知って理解を深めることができた。私は今回の授業で発表をすることができなかった。なぜなら発表内容を簡潔にまとめることができなかったからだ。今では、今日の雰囲気はとても良かったから、発表しとけばよかったと、少し後悔をしている。この学習はだんだん成長してきているのに対し、自分自身が成長できていなかったのを、今回学んだ。今日のことを糧に、これからは発表できるように頑張りたい。

2組IH

いいえ、「成長できていない」ではありません。

私もずっと以前、そんなふうに思うことがありました。でもそれは中でいるからそう見えるだけで、外から見ると、ちゃんと成長していたということに、後になって気づきました。同じところをぐるぐる回っているように見えて、実は、螺旋階段のように、ちゃんと上がっているんです。長年見ている私には、ちゃんと分ります。その証拠に、1年生の初めの感想や、人権だよりを見返してみてください。明らかに分量も内容も進化しているはずですよ。それが、あなたの生きてきた証です。皆さんの歩んできた道筋です。

今はバネを溜めている最中です。いつかその限界点がやがて来ます。そのときを心待ちにしませんか。



## 学び続ける意味

■今回の人権学習では、3回目の他のクラスの人たちと班を組んで話し合いました。最初は他のクラスとまた話すのは、正直嫌でした。でも周りの人たちが次々に意見を出していつているので、自分も何か言わないとという空気になり、自分の意見を言うことができました。他のクラスとの交流も大切なんだと思いました。他にも、1年生のときに習った「学び続けることを学ぶ」や、嫌なことには嫌、おかしいことにはおかしいと言える社会をつくるなどの復習などもあって、学び続けることはこういうことなんだなと思いました。

6組KT

私がかげだと思ふことを、皆さんには繰り返し繰り返

返し伝えてきました。でも、伝えたことが入る人もいれば、なかなか入らない人もいます。入るかどうかはタイミングの問題もあるでしょうし、忘れることもあるでしょうから、やはり繰り返し繰り返し伝えることかなと思います。今回私が伝えたかったことは、「意見表明をしていかないと戦争への道を進んでいくことになるかもしれないから、発表していこうね」ということです。分ったかな？

## 必要なのは、勇気ではなく伝えたい気持ち

■今日の人権学習は、とても勉強になりました。僕は初めて発表して、とても緊張しました。でも、この1回の発表だけでもとても学ぶことができました。今まで人権学習で発表する人は、勇気がとても必要だと思っていました。でも、本当に必要だったのは、勇気もそうなのですが、勇気だけではなく、他の人にどれだけ伝えたいかという気持ちが必要なんだと分かりました。僕はこれからの人権学習や平和学習でも発表している人をよく見て、よく聞いていこうと思いました。12月には沖縄に行きます。地上戦で亡くなってしまった人たちの思いを考えながら、見て学んでいこうと思います。

4組SY

「気持ちが必要」…勇気ではなく、「思い」だということですね。その「思い」を感じられれば、誰に何を言われずとも、「よく見て、よく聞く」ということなのですね。言われてする、やらされてする、のではなく、その「思い」を知っているから、分っているから、自ら選んでそうするということです。それは、何よりも強いです。やらされ、させられているうちは弱いです。でも、自ら選んで行う行為は強いです。そこに覚悟があるからです。



## 本当に怖いのは人間、今日のみんなは？

■今まで平和学習や人権の学習をしてきて、戦争が怖いなどと言ってきたけれど、本当に怖いのは人間だと思いました。理由は、差別や戦争などを起こしたのも人間だし、差別とかで学校に来ていない人もいるし、いじめなどに耐えきれなくて死んでしまう人もいるし、それらのことを起こしているのが人間だと思ったから怖いと思った。人がみんな悪いんじゃないくて、いい人もいれば悪い人もいるのが人間だから、もし差別やいじめなどをしている人がいれば止めるし、逆にいじめや差別をする立場にもならないように気をつけようと思う。

6組MT

人自身に、良し悪しはないのでしょうか。良いところもあれば、悪いところもある。ただ、なかなか強くは生きられない弱さを持っているのも人間で、その弱さに偏ってしまうと、どうしても悪い面ばかりが目につくのかもしれません。今回、皆さんがしていたことは、そういった状況への抵抗です。挑戦です。確かに人間には怖い面があります。でも、今回の授業で多くの人が感じたように、人間には信じられる面、素敵な面、崇高な面もあるということです。人権学習は、それを感じさせてくれる時間です。みんながそんな時間を過ごすことができれば、世の中を変えていけそうな気がします。

こと、悲しかったこと、人とつながれてうれしかったこと、今ある痛みについて話していきたいと思います。

皆様では自分の気持ち、一つ一つでいい



今回のような雰囲気を実現させるてくれたのは、人権委員会のメンバーです。15号の最後に私はこう書きました。

「受け身の自分から、主体的な自分になっていくということです。面倒くさいとか恥ずかしいではなく、主体的に自分の、自分たちの未来を切り拓いていける人間に変わってほしいのいです」

前から見ていると、「自分の班に当ててください！」と言わんばかりに、班の番号を高々と掲げる皆さんがいました。見ていて本当にすがすがしい気持ちになりました。掲げた人は発表しなかったかもしれません。でも、手を挙げる勇気を、心地よく体感できたのではないかと思います。

そして、全員が立ち上がる。自分は発表しないかもしれませんが、発表する人の力になっている。一人で手を挙げ、一人で立つことは本当に難しいことです。でも、その力になり、自分もみんなからのまなざしを受け、一つのことをやり切った感覚が得られたのではないかと思います。その小さな小さな一歩が、本当に大切な一歩なのです。

授業は自分たちでつくっていくものです。もちろん先生が進めることもあります。それだけではなく、自分たちで主体的につくっていくものです。そんな勇気や行動力を身につけた皆さんは、どこに出ても恥ずかしくない、堂々と自分の道を切り拓いていける人間になっていけるとと思います。与えられることを待つ受け身の人間から、自ら与えられる、自らの道を切り拓いていける人間になっていけるとと思います。目の前に在る道に行くのではありません。皆さんが歩くから、道はできていくのです。そんな一人一人になれる可能性を感じた90分でした。

(第18号につづく)